

令和8年度シラバス (国語)

学番 中等1 新潟県立村上中等教育学校

教科(科目)	国語 (現代の国語)	単位数	2単位	学年 (系)	4学年
使用教科書	数研出版 改訂版 高等学校「現代の国語」				
副教材等	・数研出版『現代の国語 準拠ワーク』 ・尚文出版『頻出漢字マスター3000』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

本校においては大学等に進学を希望する生徒が大多数であることを踏まえ、

- ①基本的な語彙・漢字の知識、理解を基盤として、論理的な読解力と要約する力を育てます。
- ②法令文や対談など、多様な形式の文章に触れることで、読み比べたり関連付けたりして、文章を深く読む力を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、小テスト ・ノート、ワークシート、発表などから、評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、小テスト ・ノート、ワークシート、発表、発表原稿などから、評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、小テスト ・ワークシート、発表、発表原稿、授業態度などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
4	社会と文化	読む 2時間	「風が通るとき」 田中 真知	<ul style="list-style-type: none"> ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
		読む 2時間 書く 5時間	「水の東西」 山崎 正和	<ul style="list-style-type: none"> ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章内容に関連した具体例を探し、その内容を簡潔にまとめる。 	6	ワークシート (記述の点検)
5	一般論と主張	話す・聞く 5時間	「ズームアップ文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。 ・自文化とグローバリゼーションという観点から、実社会の中から適切な話題を決め、話し合う。 	6	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
		書く 6時間	「わらしべ長者」の経済学 梶井 厚志	<ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめ、意見交換する。 	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
6	論理とレトリック	読む 3時間 話す・聞く 3時間	「コインは円形か」 佐藤 信夫 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・自分の認識が一面的になっていることはないか、例を参考に話し合う。 	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)

6 7	背景を理解する	読む 2時間 書く 6時間 話す・聞く 5時間	「ポスト・プラ イバシー」 阪本 俊生 「ズームアップ 情報とメディ ア」	・推論の仕方を理解し使う。 ・筆者の主張に対する自分の考えを、 実社会の状況を踏まえて文章にまと める。 ・グラフ資料と本文を関連付けて考 察し、自分の考えをまとめる。 ・実社会の中から話題を決め、それ についてマス・メディアから発信さ れた情報と個人から送信された情報 を比較し、両者の違いについて話し 合う。	13	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
9	具体と抽象	読む 3時間 話す・聞 く2時間	「ものごと くば」 鈴木 孝夫 「ズームアップ どこにも蝶など いない」 定期考査	・言葉には、認識や思考を支える働き があることを理解する。 ・文章内容に関連した具体例を探し、 その内容について詳細に調べる。 ・文化によって分節の仕方が異なる ものをあげて、その背景にある文化 の違いについて、自分の考えを説明 する。	5	ワークシート (記述の点検)
10	問題提起	読む 2時間 話す・聞 く5時間	「他者を理解す るということ」 鷺田 清一 「ズームアップ 自己と他者の理 解とは」	・主張と論拠など情報と情報との関 係について理解する。 ・筆者の主張が述べられた部分につ いて、指示語の内容を明示しながら 説明する。 ・他者との相互理解のためにできる ことについて、具体的な事例を挙げ て話し合い、発表する。	7	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
11	背景を理解する	読む 2時間 書く 5時間	「時間と自由の 関係について」 内山 節 定期考査	・実社会との関わりを考えるための 読書の意義と効用について理解を深 める。 ・特定のテーマについての本を読み 感想文を書いた上で、その内容を発 表する。	7	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
12	一般論と主張	読む 2時間 書く 5時間	「「異文化を理 解する」とは」 松村 圭一郎	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕 方について理解を深め、使う。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について理解する。 ・本文の内容を踏まえて、自分の体験 とともに考えを述べる。	7	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)

1	批評する	書く 5時間	『羅生門』の最後の一文 半沢 幹一 定期考査	・本文の批評文としての構成を捉え、『羅生門』についての筆者の考え、立場を理解する。 ・作品について自分の考えを持ち、文章の構成に注意しながら批評文を書く。 ・複数の文章を読み比べて考えたことを説明する。	5	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
2		書く 3時間	「無意識を滋養する術」 ドミニク・チェン	・『夢十夜』についての筆者の考え、立場を理解する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。	3	ワークシート (記述の点検)

計73時間 (48分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 20時間	B「書くこと」 35時間	C「読むこと」 18時間
-----------------	----------------------	-----------------	-----------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

- ・ 読解や意見文などの課題の提出があります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の見学レポートなど)

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会において必要とされる総合的な国語の資質・能力を育成する科目です。多様な形式の文章に触れ、論理的な読解力を高めていきましょう。また、小説題材にも取り組みます。言語文化で学んだことの繋がりを意識し、比較読解にも挑戦してみましょう。毎時間の授業を大切に、理解が難しいところ、つまづきは授業内で解決しましょう。本授業を通じて、多様な視点から考える力を高めていけるように、ぜひ積極的な態度で臨んでほしいと思います。

(担当：南波 雪恵)